

第1学年 国語科学習指導案

1. 単元名 むかしばなしをたのしもう

「日本のことのは むかしばなしをたのしもう」（東書1年）

2. 単元目標

- 昔話を楽しんで読み、好きなどころを見つけ伝える活動を通して、昔話に親しむことができる。

3. 単元の評価規準

- 昔話に興味をもって、読み聞かせを聞いたり自分で読んだりしようとしている。

[国語への関心・意欲・態度]

- 昔話を楽しむために、読みたい本を選んで、好きなどころを見つけながら読んでいる。

[読む能力]

- 昔話の好きなどころとその理由を主語・述語に気をつけながらわかりやすく書いている。

[書く能力]

- 昔話の好きなどころを友達にわかりやすく伝えている。

[言語についての知識・理解・技能]

4. 単元と言語活動の関わり

本単元は、昔話などの読み聞かせを聞いたり自分で読んだりして、伝統的な言語文化に触れることの楽しさを実感することをめざしている。これは、学習指導要領における[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]（1）ア（ア）昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり、発表し合ったりすること。」を踏まえている。C読むこと（1）ウ「登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」オ「文章と自分の経験を結び付けて、自分の思いを発表し合うこと」カ「本や文章を選んで読むこと」から、自分の選んだ本の好きなどころを紹介ブックにまとめ、友達に紹介する活動を取り入れることにした。紹介ブックを作成した後で「1年生昔話文庫」を作り、いろいろな昔話をさらに楽しめるようにしたい。

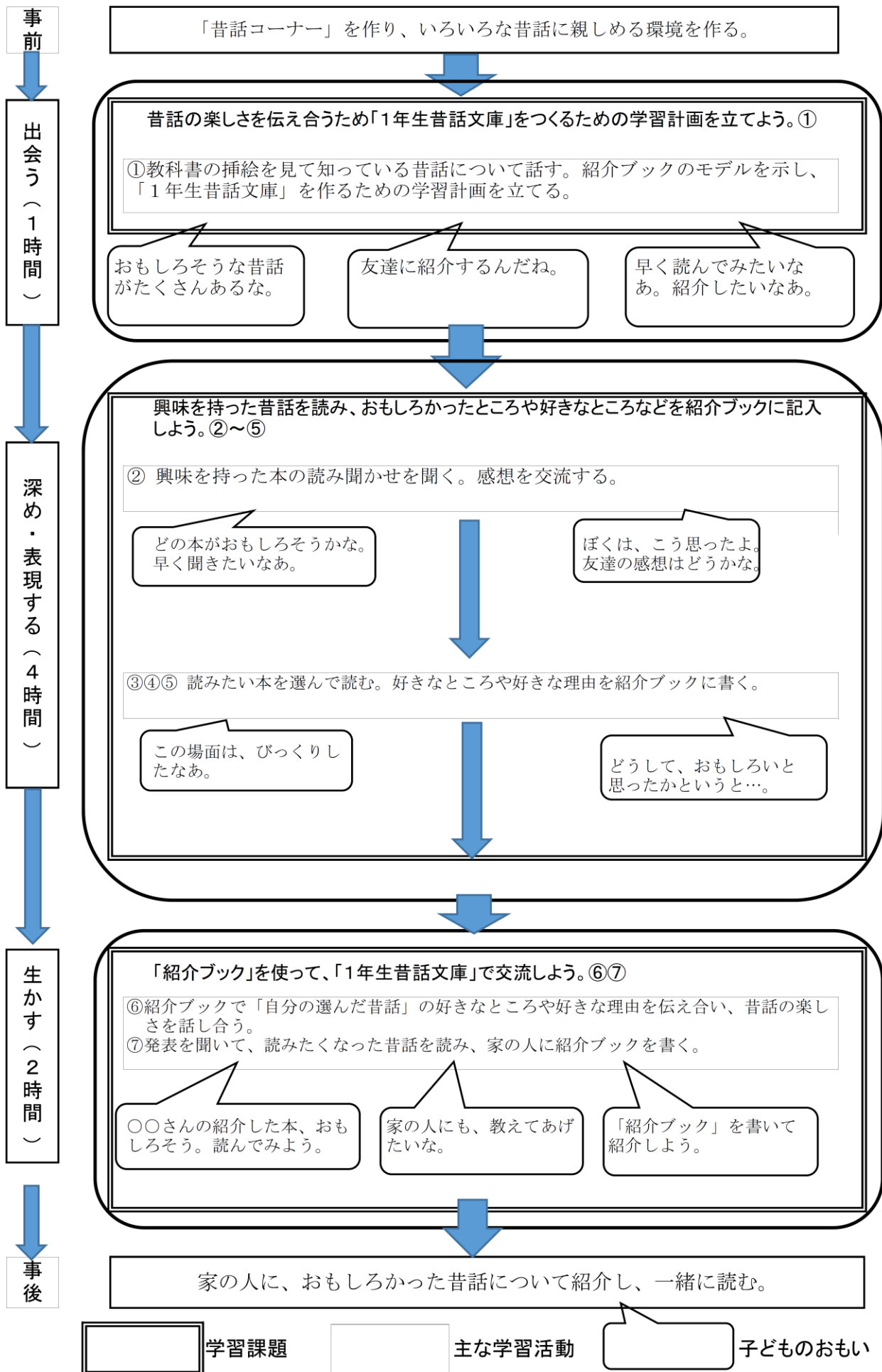
この単元の言語活動として、お話の好きなどころやおもしろかったところなど、友達に伝えたいところを紹介ブックに書く活動を設定した。まず、好きな昔話を選ぶ。紹介ブックに題名と作者を記入し、あらすじを短い文でまとめる。そのとき、主語と述語に気をつけて短い文で書けるように文型を紹介する等して、分かりやすく短い文で書けるようにする。さらに、好きなどころを書き写し、その理由を「～からです。」という形で書かせ、紹介できるようにする。「おもしろい」「ここが好き」というところを友達にも知ってもらいたい気持ちが大きいので、意欲をもって読んだり書いたりできると考えた。

本単元では、教材文としてさまざまな日本の昔話を取り上げる。まず、教科書の挿絵から自分の知っている昔話について話をする。いろいろな昔話があることを知り、昔話に興味を持ち、読み進めていく。まずは、子どもたちが興味を持った昔話の読み聞かせを聞き、感想カードに感想を書く。そして、興味を持った昔話の本を探し、読んでもらったり自分で読んだりする。その中から、おもしろかった昔話を選んで、紹介ブックにまとめる。日本の昔話は言語文化に親しむ第1歩である。「むかしむかし、あるところに」などの発端句から始まり、「めでたしめでたし」などの結句で終わるといった形式や、独特の言い回しなど、現代のお話とは異なるおもしろさを感じながら、伝統的言語文化に触れることができる。また、絵本だけでなく、紙芝居や昔話をもとにして作られた歌も楽しみながら、昔話に親しむことができるようにする。

指導に当たっては、児童が主体的に読み進めることができるような学習過程を考えた。

学習過程	内 容
事 前	昔話コーナーを作り、いろいろな昔話に親しめる環境を作る。
出会う	教科書の挿絵をもとに、知っている昔話について話す。「紹介ブック」のモデルを提示しながら、昔話の楽しさを伝え合うために紹介ブックを書き、「1年生昔話文庫」を作ることを知らせる。また、学習計画を立てることで、学習の意欲づけと見通しを持たせるようにする。
深め・ 表現する	興味を持った昔話の本を読み、すきなところに付箋を貼り、紹介ブックに記入していく。まず、題名・作者とあらすじを書く。次に好きなところと好きな理由を記入する。分かりやすく伝えるために基本的な文型を示し、文章の構成に気をつけて書く。ペアで、すきなところやその理由を紹介ブックを使って紹介し合い、「1年生昔話文庫」の発表会への意欲を高める。
生かす	紹介ブックを使って、「1年生昔話文庫」の発表会を行う。友達が紹介した昔話で読んでみたいものを読み進める。面白かった昔話の紹介ブックを書き、家の人に紹介し、一緒に家読に取り組めるようにする。
事 後	「1年生昔話文庫」を活用し、さらにいろいろな昔話に親しめるようにする。

5. 単元構想



6. 指導と評価の計画(全7時間)

過程	学 習 活 動	学習活動における評価規準 (評価方法)
出 会 う	① 教科書の挿絵をもとに、知っている昔話について話す。紹介ブックを提示しながら、昔話の楽しさを伝え合うために紹介ブックを書くことを知らせる。学習計画を立てる。	(関) 学習の見通しを立て、知っている昔話について話し合っている。 (観察・発言)
深 め ・ 表 現 す る	② 昔話の読み聞かせを聞く。 感想を交流する。 ③ ④ ⑤ 読みたい昔話を選び、読む。 話の好きなところに付箋を貼る。 紹介ブックに題名、作者、あらすじ、好きなところ、好きな理由を文の構成に気をつけて書く。	(関) 昔話の読み聞かせを聞き、昔話のおもしろさに気づいている。 (発言・ワークシート) (読) いろいろな昔話を読み、楽しんでいる。 (書) 主語・述語に気をつけて紹介ブックに書いている。(ワークシート) (言) 読んだ昔話のおもしろかったところを友達に伝えている。 (ワークシート・発表)
生 か す	⑥ 紹介ブックを使って、「1年生昔話文庫」発表会を開く。 ⑦ 友達の紹介を聞いて、読みたくなった本を1年生昔話文庫から選んで読む。家の人に紹介するための「紹介ブック」を書く。	(読) 友達の発表を聞いて興味を持った本を選んで読んでいる。 (ワークシート・観察)

7. 本時の学習

(1) ねらい 好きなところや好きな理由を主語や述語に気を付けて、書くことができる。

(2) 本時の流れ (4 / 7)

時間	主な学習活動 (○) と予想される児童の反応 (・)	教師の支援 (・)、評価 (☆)
5	<p>○前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな昔話を読んだ。 ・おもしろいところに付箋を貼った。 ・ブックの表紙を書いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介ブックのモデルを掲示し、前時の学習を想起しやすいようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>めあて 好きなところとその理由を、わかりやすく紹介ブックに書こう。</p> </div>		
20	<p>○紹介ブックの書き方をモデルを見ながら説明を聞く。</p> <p>○紹介ブックを書く。</p> <p>①好きなところを書く。</p> <p>②すきなわけを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋を貼ったところをもう一度読んでみよう。 ・どんなわけを書こうかな。 ・感想はどの言葉があてはまりそうかなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きなところは「誰が」「何をした」のわかるように、「□が□したところ」という文型を掲示する。 ・理由は、「～だから」という文型を示し、理由が分かりやすく伝えられるようにさせる。どのような言葉で気持ちを表せるか例を示し、理由に記入できるようにする。 <p>☆付箋を貼ったページを読み返して、文型に気をつけながら紹介ブックに記入している。(ワークシート)</p>
10	<p>○互いに「紹介ブック」で昔話の好きなところと好きな理由を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰が」「何をした」ところが好きなのかな。 ・理由は、「～だから。」と書かれているかな。 ・好きなところがよくわかるな。・おもしろそうだなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで互いの好きなところとその理由を紹介し合い、互いにシールを貼って相互評価をする。 <p>☆視点に沿った相互評価ができる。(観察、ワークシート)</p>
5	<p>○本時の学習をふり返り、次時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紹介ブックができて、うれしい。 ・発表会が楽しみだ。 ・早くみんなに聞いてほしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りをし、次時の本の紹介の意欲付けの声かけを行う。

(3)本時の評価

	十分満足できる	おおむね満足できる	支援を必要とする児童への指導の手立て
書くこと	昔話を読み、好きなところや好きな理由を主語や述語に気を付けて、自分の言葉で書くことができる。	昔話を読み、好きなところや好きな理由をモデルを参考にしながら主語や述語に気を付けて書くことができる。	付箋を貼ったページと一緒に読み、文型を示しながら文章に書けるように支援をする。

(4)研究の視点

- 「好きなところや好きな理由を『1年生昔話文庫』で紹介する」という言語活動を設定したことは、児童の学習意欲を高める上で有効であったか。
- 互いに「紹介ブック」で紹介し合い、相互評価を取り入れたことは、ねらいを達成するために有効であったか。